

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライク学園		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種からの視点をういたチームアプローチを実施していること。	現在、児童発達支援管理責任者・理学療法士・言語聴覚士・保育士資格を保有している職員が在籍している。集団の中で過ごす児童の社会性や発達年齢、状態像等に応じて訪問支援員だけではなく、普段児童発達支援・放課後等デイサービスで該当児童の現場支援にあたる職員も同行することで多職種からみた行動分析・支援構築を行っている。	引き続き、児童それぞれの発達課題に合わせた支援構築ができるよう多職種からの視点をういたチームアプローチを継続していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の行動分析がインフォーマルなアセスメントのみで行われることが多い。	行動観察や聞き取り中心のアセスメントが多いため、集団の中で見えにくい本人課題や訪問支援当日に見られない本人課題に関しては、適切な支援構築が難しい。	集団場面で使用できるフォーマルアセスメントについて検討・実施できるようにする。
2			
3			